

平成 28 年度 北上小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市地域安全課きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

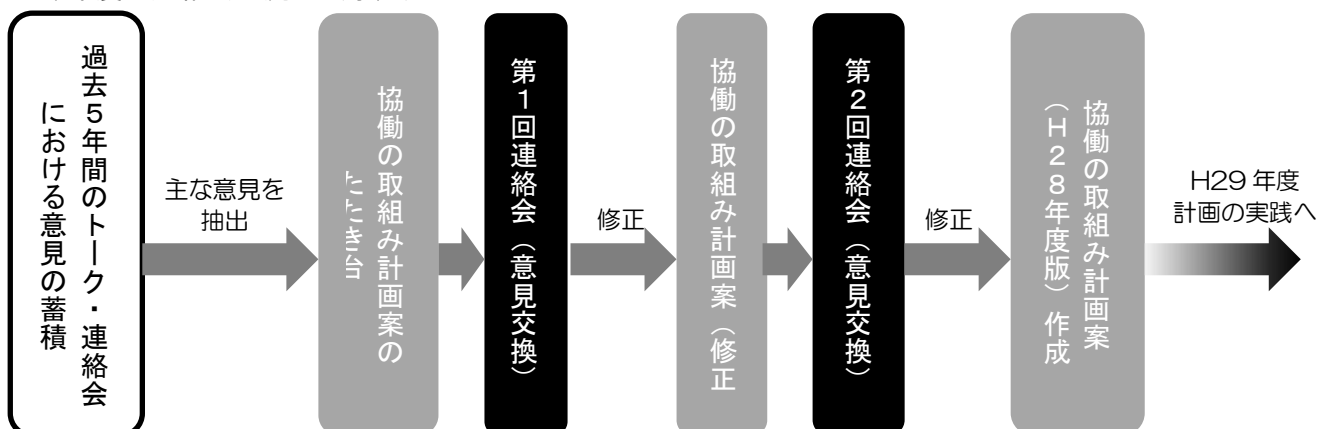
12月15日（木）に開催された「北上小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

■開催概要■

日 時	平成 28 年 12 月 15 日（木）19:00～20:45		
会 場	北上文化プラザ		
参加団体 (11名)	芙蓉台自治会 徳倉第5自治会 徳倉第6町内会 エンゼルハイム芙蓉台自治会	私立しらゆり幼稚園 私立ピーターパン幼稚園 北上小学校 北上中学校	北上小学校支援地域本部 体育振興会 芙蓉会

■今年度の連絡会の流れ（予定）■



地域の情報交換のまとめ

●連絡会の中で、各団体が地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

団体	情報交換の概要
ピーターパン幼稚園	<p>■取組み等のお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からこども園になりました。 ・悩んでいるお母さんの役に立つことができたらうれしいです。親子教室や園庭開放をやっていますので、周囲の人にお知らせください。
しらゆり幼稚園	<p>■活動の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北上小や北上中と交流学习として付き合いがあります。 ・10/22に作品展とバザーを開催しました。一般の方も来園いただけます。来年度以降も開催するので、ぜひご参加ください。
北上小学校支援地域本部	<p>■活動の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北上小学校支援地域本部は、数年前にできた団体なので、地域の皆さんにはわかりにくいと思います。基本的には、北上小学校から受けた依頼に対する活動をしています。 ・具体的には、職業体験活動の場を開拓しました。昨年8社だったのが今年は12社になりました。 ・北上小のグラウンドが凸凹で、水はけが悪いので、支援していただけるように動いています。 <p>■算数を教えることのできるスタッフ募集のお願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後に勉強したい児童を対象に、学校支援地域本部で学習支援をしています。現在、40人の子どもたちが学校のパソコンを使ってクイズ形式の勉強をしています。学校支援地域本部のスタッフが対応していますが、算数を教えることが難しい状況です。算数を教えることができる人がいたら紹介をお願いします。
芙蓉会 (シニアクラブ)	<p>■活動の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芙蓉台には1,000人以上の高齢者がいるにもかかわらず、芙蓉会の会員数は80人程度です。会員が増えないことが課題です。 ・高齢者が家に閉じこもらないように、懇親会や新年会を開催しています。婦人会が格安の昼食を作ってくれ、カラオケや各クラブの発表を楽しんでいます。また、社会福祉協議会や地域包括支援センター、市役所に参加していただくこともあります。 ・北上小の5年生と昔の遊びを紹介したり、給食を一緒に食べたりして交流しています。
北上小学校	<p>■地域の皆さんの協力へのお礼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードの方々を中心に登下校の見守りをいただいています。また、地域の方に読み聞かせをいただいています。これらの活動を含め、学校支援地域本部の方々に、様々な活動をコーディネートしていただいています。地域の皆さん、ありがとうございます。

意見交換のまとめ

■キャッチフレーズの投票結果

第1回連絡会でいただいた意見を踏まえて事務局が作成した「こんな小学校にしたい」(キャッチフレーズ)の案について、投票を実施しました。

案①	世代を超えて、みんなで支え合う温かいまち	10
案②	元気、笑顔、互いに認め合い つながりのある北上小学校区	1
案③	笑顔のコミュニティ 北上	0

投票の結果、「こんな小学校にしたい」(キャッチフレーズ)は以下の通りとなりました。

世代を超えて、みんなで支え合う温かいまち



■「具体的な取組み」の投票結果

協働の取組み案に掲載している「取組みたいこと」について、右記の3つのポイントで投票していただきました。投票の結果は以下の通りです。

＜投票のポイント＞

- ①「やってみたい」と思う取組
- ②課題を解決するために重要な取組
- ③実現できそうな取組

※●の数が投票数を表します。

A あいさつの活発な地域づくり		やりたい	重要	できそう
A-①	スクールガードを継続してあいさつを活発にする。		●●●● ●●	
A-②	家庭内で朝からあいさつをする。			
A-③	大人から積極的にあいさつする。		●●●	●
A-④	相手を気にしないで自分からあいさつする。			
A-⑤	行事に参加してあいさつする。		●	
A-⑥	<u>地域でラジオ体操を実施し、顔見知りを増やしたり、あいさつの習慣をつけたりするきっかけにする。</u>			

B 危機管理意識の高い地域づくり		やりたい	重要	できそう
B-①	子ども会を足がかりに地域の人との結びつきを強める。		●●	
B-②	地域行事に参加してお互いを知り合う。		●●	
B-③	顔合わせになる機会を各組で増やす。(お茶会、あいさつなど)			
B-④	<u>引きこもりがちな高齢者に外出機会を作る。(芋掘りハイキング、お困りごと相談会など)</u>		●●	
B-⑤	フェアキャストを活用して危機管理情報を共有する。	●		
B-⑥	かけこみ 110 番の機能を再確認する。			
B-⑦	高齢者向け自転車安全教室を開催する。			
B-⑧	危機管理に関する中学生の役割について明確にする。		●	
B-⑨	避難場所を整備点検して周知・徹底する。		●	
B-⑩	地域共有の危機管理マニュアルを作成して運用する。(幼稚園、小学校、地域の考えのすり合せ)		●	
B-⑪	<u>子ども会の募集チラシやポスターに楽しい活動の様子を載せる。</u>			
B-⑫	<u>町内会ごとに開催する防災訓練の日程の統一を検討するなど、学校と連携して防災訓練の参加者を増やす。</u>	●	●	

C 高齢者の見守りのある地域づくり		やりたい	重要	できそう
C-①	民生委員と自治会長が協力して要援護者から情報公開の了承を得る。		●	
C-②	地域包括支援センターに高齢者の情報を集約する。			
C-③	どんな人が住んでいるのかに興味と関わりをもつ。		●●	
C-④	自治会（福祉部）の食事会を継続する。		●	
C-⑤	子ども会・老人会・自治会の連携によるイベントの実施。	●●●		
C-⑥	老人会に参加するよう声かけを強化する。		●	
C-⑦	小学生が下校時に高齢者世帯を見守ることができないか検討する。	●		●

■投票結果を受けての意見交換

A-① スクールガードを継続してあいさつを活発にする。

●スクールガード活動が地域づくりにつながっている

- ・私はスクールガードを11年間継続している。スクールガードをやることにより、あいさつ（A）だけでなく、危機管理（B）や高齢者の見守り（C）などにもつながっている。
- ・スクールガードをやって顔見知りになっているので、子どもの父母や中高生が地域の活動に協力してくれる。
- ・スクールガードを中心とした地域づくりがうまくいっている。
- ・スクールガードの日常の活動が地域の全体の信頼を受けている。

●スクールガードによって子どもたちの安全が守られている

- ・自分の子どもが安全に登校できているので、とても大切な活動だと思っている。
- ・萩の交差点は交通量が多いが、スクールガードの皆さんが見守ってくれているので安心できる。

●子どもたちとのコミュニケーションが活発になっている

- ・スクールガードさんと子どもが話をしているのを見る。良い傾向だと思う。
- ・スクールガードの皆さんが、子どもたちに話しかけてくれ、元気かどうかお互いの様子を知ることができる。
- ・子どもたちにとって年長から小学校1年に上がるステップは大変だが、スクールガードが優しい声をかけてくれるので、ありがたい。
- ・小学生だけでなく、中高生もよくあいさつしてくれる。
- ・幼稚園バスの中から子どもたちが手を振ると、スクールガードの皆さんが手を振ってくれ、子どもたちが地域の方が見守ってくれて



いるということを認識している。

A-③ 大人から積極的にあいさつする。

●大人が見本を見せる

- ・大人よりも子どもの方があいさつしている。
- ・大人が手本にならないといけない。
- ・あいさつし合えば、お互い良い関係になれる。

●恥ずかしがる子どもたちにあいさつしてあげる

- ・女子中学生はあいさつしてくれるが、男子中学生は恥ずかしがっている。
- ・小中学生はあいさつしたくても恥ずかしがっている。大人から挨拶してあげれば子どもたちもしやすくなる。

●簡単にできるので、あいさつから始める

- ・健康面からスクールガードはできないので、普段からあいさつをがんばりたい。
- ・スクールガードに頼りっぱなしではいけないので、世代交代もしていかなければならない。そのため、大人みんなであいさつするところから始める。

●不審者対策との兼ね合いが難しいが、あいさつすべき

- ・「知らない人についていけない」という防犯対策との兼ね合いが難しい。
- ・不審者の問題もあるが、あいさつはきちんとすべき。
- ・幼年期の挨拶の指導がむずかしい。

B-⑧ 危機管理に関する中学生の役割について明確にする。

●中学生の役割を明確にすれば、中学生は対応できる

- ・中高生は力があるので、災害時の役割を与えたい。
- ・芙蓉台の防災訓練は中学生がたくさん参加して、自治会が役割をきちんと与えていた。自治会が中学生のできることを把握しており、役割を明確にしてくれている。
- ・萩の防災訓練にも中学生がたくさん参加していた。

C-⑤ 子ども会・老人会・自治会の連携によるイベントの実施。

●団体間の連携を試みたい

- ・ぜひ、子ども会、老人会、自治会の連携によるイベントにチャレンジしたい。
- ・祭りなどで連携できるとよい。
- ・防災訓練の後にみんなで豚汁を食べて顔見知りになるのはどうか。

●子ども会へのサポートが大切

- ・子ども会は、役員になる母親の負担が大きい。父親や自治会などのサポートが大切。
- ・芙蓉台では、どんど焼きや夏祭りの手伝いに子ども会の父親たちが協力してくれる。

●すでにやっていることもある

- ・すでに、自治会と子ども会の交流はしている。
- ・子ども会と老人会で映画鑑賞や輪投げをやって、交流を図っている。